

# 美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会

経済産業部 産業革新局

## 1 取組の背景

### ① 時代背景

令和

= Beautiful harmony

SDGsの  
普及拡大



21世紀 =  
「環境と生命  
の世紀」



### ② 静岡県の取組

Dreams come true in Japan の拠点

「世界から見た静岡県」という視点に立ち、  
静岡県を誰もが夢を実現して幸せを叶え  
られる地域“ドリカムランドふじのくに”に

その一つ  
として

スマートガーデンカントリー“ふじのくに”

AIやIoTなどの先端技術を産業や社会生活に取り  
入れ、快適で 活気に満ち 人々の心・暮らし方・  
景観が美しい持続可能な社会を形成

“ふじのくに”静岡県は、令和とSDGsのフロントランナー

## 2 社会的課題

### ① 海・湖の豊かさの危機

漁獲量の減少

象徴：サクラエビ（駿河湾）、アサリ（浜名湖）

⇒ 原因がよくわかっていない。改善の取組が不十分。



### ② 海の美しさの危機

海洋汚染、地球温暖化といった世界的な課題

象徴：海洋プラスチック

⇒ 世界的な取組、全員参加の取組が必要

### ③ 海の豊かさの新たな利用による持続可能な開発への貢献

様々な科学技術の飛躍的発展

(ICT、AI、バイオテクノロジー等)

⇒ 多様な「知」の融合による「新たな価値」の創造・共創への期待



静岡が課題解決のモデルとなる 世界からあこがれを集める静岡の「海」と「人」と「知」

## 3 「静岡の海」をテーマにした連携・協働の枠組みづくり

### ○ 取組の方向性

世界に誇るべき美しく豊かな静岡の海を未来に引き継いでいくため、「**守り**」**活かす**」「**伝える**」「**交わり** **親しむ**」「**究める**」を4つの取組の柱として、様々な人々・企業・団体等の**連携・協働**を推進する枠組みを創設する。

#### 守り 活かす



ごみ拾い活動



ブランド育成

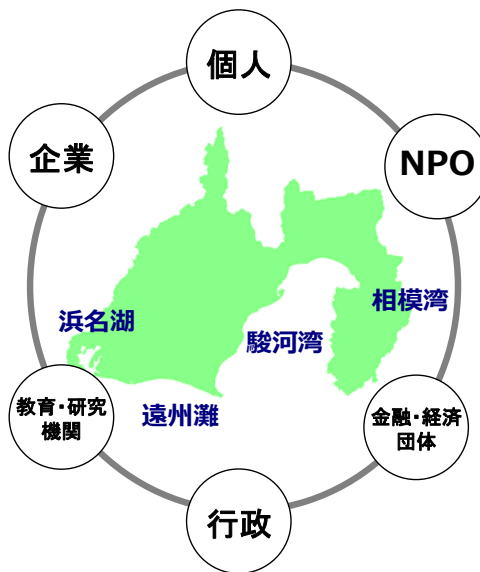
県 水産・海洋調査 ほか

#### 伝える

HP等での情報発信 静岡の海読本の発刊



県 世界で最も美しい湾クラブ ほか



#### 交わり 親しむ



表彰・交流イベント



マリンスポーツ普及

県 浜名湖キューバヘミングウェイカップ ほか

#### 究める

海洋汚染研究

海洋資源等研究



県 「森は海の恋人」水の循環研究会 ほか

「静岡の海」をテーマに、人々・企業・団体等の取組をつなぐ大きなネットワークを形成

## 4 「美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会」の設立

(経済産業部を中心に暮らし・環境部、文化観光部、交通基盤部等との連携)

令和元年12月24日 川勝知事(発起人代表)による設立意思表明

令和元年12月～  
令和2年2月



設立趣旨書

設立趣旨に賛同した県内外の企業・団体・大学・行政の  
代表ら **120人以上** が発起人に就任

＜発起人所属＞

- 企業 (鈴与、スズキ、ヤマハ発動機、はごろもフーズ、サッポロビールほか)
- 金融機関・マスメディア (県銀行協会、NHK、静岡新聞社ほか)
- 経済団体 (商工会議所連合会、商工連、経営者協会、中小企業団体中央会ほか)
- 港湾・漁港・水産団体等 (海のみらい静岡友の会、県漁連ほか)
- 文化・観光・スポーツ・まちづくり団体等 (県観光協会ほか)
- 大学・研究機関・教育機関 (東海大、静岡大、東京海洋大ほか)
- 芸能人・料理人 (岩崎恭子さん、ふじのくにマエストロシェフほか)
- 山梨県・県内市町・県関係機関 (富士山世界遺産センターほか)

令和2年2月14日 設立総会・キックオフイベント開催

美しく豊かな静岡の海を私たちの手で未来へ！

## 5 設立総会・キックオフイベントの開催 (2月14日 清水マリナート)

### 設立総会

#### 会則の承認・会長決定

- ◆ 出席した発起人の皆様の採決により、会則を承認。⇒ 会の発足
- ◆ 初代会長には川勝知事が就任



### キックオフイベント

- ◆ 発起人と一般来場者も交え、会の発足を記念するイベントを開催
- ◆ 県全体で静岡の海を未来につないでいくという取組の気運を醸成

#### 基調講演 「静岡の海の可能性」

【講師】

- 東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 橋本 正洋 氏  
(MaOI機構統括プロデューサー)



#### パネルディスカッション

#### 「私たちの手で美しく豊かな静岡の海を未来へ」

【登壇者】

- 静岡県富士山世界遺産センター 館長 遠山 敦子 氏
- 清水港振興(株)社長/鈴与(株)相談役 村上 光廣 氏
- 東海大学 海洋学部 教授 齋藤 寛 氏
- 入野漁協 専務理事兼事務局長 杉山 恵子 氏
- BOWA代表 浅野 美和 氏
- 東京工業大学 教授 橋本 正洋 氏 (モデレーター)



## 6 今後の活動

### ① 会員の募集

MaOIプロジェクトの推進機関である(一財)マリンオープンイノベーション機構が事務局となり、令和2年度から会員を募集

会 員	会の趣旨に賛同する個人・法人(企業・団体)
会 費	個人会員：1,000円/年(学生等は任意)
	家族会員：1,500円/年(親1人+子供 ※複数可)
	法人会員：一口 10,000円/年
	応援会員：任意(教育・研究機関、行政機関等)

### ② 交流会の開催/ホームページ等による情報発信

会員団体等の方々が取り組んでいる、静岡の海を「守り 活かす」「伝える」「交わり 親しむ」「究める」様々な活動について情報を共有し、連携を促進するための交流会を開催  
会員団体等の活動を紹介するホームページを公開。各活動への参加・応援の輪を広げていく

### ③ 分科会(仮称)の設置

特定のテーマについて志を同じくする会員による連携・参画を促し、静岡の海を未来につなぐ様々な活動を促進

分科会の例  
(想定案)



美しい海づくり  
分科会



生き物生息場  
づくり分科会



ブランドづくり  
分科会



観光・ネットワーク  
分科会



海洋環境研究  
分科会

今後、MaOIプロジェクトと連携し活動を本格化(事務局をMaOI機構に設置)

会に参加し

共に (ONE TEAMとなって) 行動し

静岡の海を美しく豊かにし

未来へつないでいきましょう